

戦火よびこむ「安保三文書」破棄せよ、戦争の覚悟でなく、平和の国づくりを

たたかい続けよう

## 尼崎9条の碑建立

尼崎医療生協あおぞら会館前に建立された「9条の碑」の前で、12月13日に130人が集まって除幕式が開かれました。兵庫民医連の大澤芳清会長は、世界の戦争と日本の軍拡化を危惧し「非戦の声を上げ



続けましょう」と呼びかけました。この建立運動は、尼崎医療生協の2024年呼びかけから始まり約3000人からの145万円を超える賛同寄付のもとでつくられました。（兵庫民医連週報No.1323号の記事より）

## 第九条

日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、

国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

### 兵庫憲法共同センター 第22回総会

戦後「80年+1」

生命・生活を軽んじる社会から、  
人間の尊厳まもる社会へ転換を

2026年2月1日(日)

13:30~16:30 (開場 13時)

神戸市婦人会館4階つばき

総会議事とミニ講演予定

### ひと

辺野古新基地に反対し兵庫  
で一人スタンディング7年

吉村 平さん(85)

沖繩の現状を本土で一人でも多くの人に知らせたいという思いから、立ち始めました。

沖繩の米軍辺野古新基地建設の埋め立てを強行した2018年12月14日から今日まで、兵庫県西宮市丸瀬町で暑い日も、台風の日も、寒い日もかかさず、「辺野古新基地建設中止の政府をつくらう」という手作りの



2025.12.13 A (本人提供)

メッセージボードを手に、朝夕それぞれ約1時間のひとりスタンディングを始めました。

戦中、戦後、子どもの頃、兵庫県内でも沖繩の人や朝鮮人が差別されているのを見てきました。戦後の日本は貧しく、米軍の占領下で、沖繩の人たちとつながり、貧しさや差別はこりこりだと戦争反対の思いが募りました。

戦後80年たったいまも沖繩は「まるで米軍の占領下だ」と指摘します。

「沖繩戦で亡くなった人骨まで埋め立てに使うなんて絶対に許せない。あの美しい大浦湾にはジュゴンの餌場があった。その海にどれだけの命を打つても、軟弱地盤にはアメリカの基地はできない」と憤ります。

スタンディングを始めた当初は、嫌がらせの通報がされ、警察が来たこともありました。いまでは知られるようになり、カンパを寄せる人や差し入れも。高校生から会釈や声をかけられることもあり、やりがいにつながっています。

「沖繩の座り込みにも年々何回か行っています。基地建設を断念するまで、立ち続ける覚悟です」

文 加来 恵子

### 《壊憲阻止・戦争法等廃止・共闘・原発・行動案内》

※1/11(日)10:00~

「西脇市役所前」20歳つどいスタンディング

※1/13(火)12:15~

「三宮東遊園地」恒例の憲法昼パレード

### ◆◆◆地域や団体の催し◆◆◆

★★★ 1月24日(土) 13時~

死刑制度を考える(第8回)

~日本における死刑制度のゆくえ~

主催：兵庫県弁護士会 共催：日弁連

場所：兵庫県のじぎく会館大ホール

主な登壇者

金高正仁氏・元警察庁長官、

中本和洋氏・元日弁連会長

水谷規男氏・大阪大学法科大学院教授

山口那津男氏・公明党元代表

定員240名、入場無料

(連) 078-341-7061

「台湾有事」参戦発言を撤回せよ